

信州大学医学部附属病院 先端細胞治療センターに  
通院中または過去に通院された患者様またはご家族の方へ  
当センターにおける臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年5月8日

「きのこ抽出液等が樹状細胞の成熟化及びその機能に及ぼす影響の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3821
研究課題名	きのこ抽出液等が樹状細胞の成熟化及びその機能に及ぼす影響の検討
所属(診療科等)	先端細胞治療センター
所属責任者(職名)	柳沢 龍(准教授・副センター長)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2022年8月31日
研究の意義、目的	本研究では、樹状細胞の成熟化とその機能に影響を及ぼす物質を新たに見つけることを目的とし、より効果的な改良型 DC ワクチン製剤の開発を目指します。
対象となる患者さん	2009年4月1日～2017年3月31日までの期間に当院で樹状細胞療法を受けられた方
利用する診療記録／検体	樹状細胞ワクチン作製過程で余剰となった細胞、および既に検査が終了している末梢血単核球, 診療記録
研究方法	樹状細胞の成熟化とその機能に影響があると思われるきのこ水抽出液等を使用して樹状細胞を作製し、現在治療に用いている方法で作製した樹状細胞と比較検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
企業との関わり	ホクト株式会社より、きのこ水抽出液の提供を受けます。この研究は、ホクト生物科学財団より研究奨励金の給付を受けます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 樋口 由美子(信州大学学術研究院・助教) 電話: 0263-37-2387

既存の検体及び診療記録等を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。